

課題	● 人口減少及び少子高齢化の進行による公共交通の利用のベースの減少への対応が必要な中、旭川市においては利便性の確保と運行に必要なコストを両立した公共交通網構築が必要である。本事業では、旭川空港を起点としたMaaSの社会実装により、利用者に関するシームレスな連携・現在取得できていない各種データの収集を実現することで、周辺エリアの交通課題の解決や持続可能な公共交通網構築を目指す。		
プロジェクト概要	[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)] ● 本事業での提供機能と既存サービス機能のベストミックスにより、シームレスな移動の実現を目指す。特に、以下機能(一部)を目玉機能とし、UX向上を企図する。 検索:旭川空港に発着する航空機の運航状況と連動した経路検索 予約:経路検索結果と連動した、公共交通の予約 決済:乗り放題パス等のデジタル化を含む公共交通のキャッシュレス決済		
	[モビリティ・データの取得と活用] ● 開発するMaaSアプリにより取得する位置情報のデータや、タッチポイントにより取得したODデータ、エンドコンテンツ利用実績等のデータについて、地域単位での事業者間の顧客データを連携し分析可能な基盤を整備し、バス事業者のオペレーション効率化(エアライン運行情報をもとにしたバス発車時間の変更等)や観光地等を効率的に繋ぐ等の路線変更の検討や、交通施策の改善検討を実現する。 ● アプリ経由で事業者ごとに取得したデータを共同で管理・運営できるデータレイクを整備することで、交通・観光事業者・行政(地域)が効果的な計画・施策の立案に活用 ● エアラインの運行情報を公共交通事業者(バスなど)が確認できる管理画面の整備も実現		
	[エンドコンテンツとの連携] ● 通常の経路検索に加え、利用者に対する情報掲出に特化した周遊モードを新たに開発し、旭川エリアの宿泊、観光、飲食などの店舗情報やイベント情報を地図上で掲出(経路検索、マルチモーダル検索も可能) ● 移動と観光をパッケージで予約・購入可能な企画型チケットの販売も実施		
	● 地域単位での事業者間の顧客データの収集・連携・分析により、公共交通の路線再編・効率化や交通施策の検討に寄与する。		
効果			
事業の新規性	■ 空港に発着する航空機の運航状況と連動した経路検索を可能とするなど、他地域のMaaSにおける実装実績が多くはない「エアライン運行情報と公共交通の連携」により、旭川空港を起点とした移動の利便性向上とオペレーションの効率化を実現する。 (新規性が高いと考える具体的な取組) ・エアライン運行情報を公共交通事業者(バスなど)が確認できる管理画面等を整備 ・エアライン到着の遅れに対応し、バスの発車時間・配車計画の変更等のオペレーションの実現性検討を実施		

事業エリア/交通事業	旭川空港周辺エリア(旭川市、東神楽町 など) 一次交通事業者(JAL、ANA、ADO、JJP) 二次交通(旭川電気軌道、道北バス)	
MaaSアプリ等	● 既存サービスをアプリ機能として実装したMaaSアプリを事業内で新規開発 ● 主な機能は以下の通り ※追加での機能拡張も検討中 ● 公共交通の経路検索、公共交通の予約・決済、観光地検索・チケット予約、デジタルチケット利用(利用者によるQRコード読取)、チケット・クーポン利用	
データの活用等	■ 取得データ:DL数、閲覧数、経路検索履歴、予約・利用履歴、ユーザー属性情報 等 ■ 使用ツール:データ連携基盤、データレイク ■ 分析主体・活用:みずほR&Tにより分析を実施し、交通施策の検討材料等に活用	
座組		
全体統括、事務局		
【旭川空港を起点としたMaaS推進事業協議会】 メンバー： みずほ銀行、北海道エアポート、JAL、ANA、JJP、ADO、旭川電気軌道、道北バス、旭川市、東神楽町、旭川商工会議所、旭川観光コンベンション協会、北海道上川総合振興局、北海道商工会議所連合会、北海道大学		
みずほリサーチ&テクノロジーズ		
各種調査	システム提供・改良	運行
北海道大学	ジョルダン	旭川電気軌道、道北バス

4～5月	データ項目、評価項目の整理
4～6月	要件整理、システム改良
6～1月	現地実証、データ取得 モニタリング、評価項目見直し
1月～3月	評価 (実証後実装に向けた)要件定義